

令和元年度「一般廃棄物処理事業実態調査」結果について

1. ごみ排出量について

区 分	平成30年度	令和元年度	増減 (①-⑳)	増減割合
ごみ総排出量	473,715 t	469,430 t	△4,285 t	△0.9%
1人1日当たり	1,002 g (43位)	1,003 g (43位)	1 g	0.1%
生活系	680 g	682 g	2 g	0.3%
事業系	322 g	321 g	△1 g	△0.3%
総人口 (人)	1,295,328	1,278,713	△16,615	△1.3%

(1) 総排出量

469,430 t (前年度から △4,285 t (△0.9%))

(2) 1人1日当たりのごみ排出量

1,003 g (前年度から +1 g)  
(内訳) 生活系 682 g (+2 g)  
事業系 321 g (△1 g)

① 市町村別の状況

・増加が26団体、減少が14団体

〔生活系ごみは、増加が26団体、減少が14団体  
事業系ごみは、増加が19団体、減少が20団体、横ばいが1団体〕

② 本県人口の53%を占める3市の状況

青森市 1,038 g (前年度から + 3 g)

弘前市 1,104 g (前年度から △39 g)

八戸市 976 g (前年度から +11 g)

③ 増減の要因 (市町村からの聞き取り)

「生活系ごみ」の増加要因

- ・空き家解体等による家具や生活用品等の排出量が増加
- ・令和2年2月以降の新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う巣ごもり消費や家庭内の片付け等により、生活系ごみが増加したと推測
- ・消費税増税に伴う買い替え需要により、生活系ごみが増加したと推測

「事業系ごみ」の減少要因

- ・古紙類の搬入規制や事業系ごみの展開検査の強化により排出量が減少
- ・りんご黒星病による被害果の減少により排出量が減少
- ・令和2年2月以降の新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う事業活動の低下等により、事業系ごみが増加したと推測

## 2. リサイクル率について

区 分		平成30年度	令和元年度	増減 (①-⑳)	増減割合
行政	資源化量	68,581 t	67,165 t	△1,416 t	△2.1%
	1人1日当たり	145 g	144 g	△1 g	△0.7%
	リサイクル率	14.5%(42位)	14.3%(44位)	△0.2ポイント	△1.4%
民間	(資源化量)	101,304 t	100,909 t	△395 t	△0.4%
	(1人1日当たり)	214 g	216 g	2 g	0.9%
合計	資源化量	169,885 t	168,074 t	△1,811 t	△1.1%
	1人1日当たり	359 g	359 g	±0 g	0%
	リサイクル率	29.6%	29.4%	△0.2ポイント	△0.7%

### (1) 資源化量

- ・ 行政回収 67,165 t (前年度比 △1,416 t (△2.1%))
- ・ 行政+民間回収 168,074 t (前年度比 △1,811 t (△1.1%))

### (2) リサイクル率

- ・ 行政回収 14.3% (前年度から △0.2ポイント)
- ・ 行政+民間回収 29.4% (同 上)

#### ① 市町村別の状況

- ・ 上昇が12団体、低下が26団体、横ばいが2団体

#### ② 低下の要因 (市町村や民間資源回収事業者からの聞き取り)

- ・ 民間回収の利用拡大が、行政回収量の減少につながったと推測
- ・ 民間回収したものの中に、異物の混入や汚れにより、リサイクルされずにごみとして処理されたものがある。→ リサイクル率が低下したと推測

## 3. 今後の対策

### (1) 適正分別対策の強化 (新規重点枠事業)

- ・ リサイクル資源は「ごみ」ではなく「原料」であることについて、県民及び事業者の意識の転換・強化を促すため、市町村等と連携した重点広報、小学生3Rチャレンジ、適正分別実践のための事業者向けガイドブックの作成配布等により、適正分別を強力に推進する。
- ・ 行政と地域の民間資源回収業者が一堂に会する「3R推進地域ネットワーク会議」を県内6地域で引き続き開催し、課題の把握や改善に向けた対策を検討する。

### (2) ごみ排出量削減対策

- ・ 食品ロス削減のため、新たに、スーパー等で賞味期限が短い商品の優先的購入を促す「てまえどり」普及事業の実施や、プラスチックごみ削減のため、マイバッグ、マイボトルの使用促進などの「7つの行動」の呼びかけを継続し、県民の行動変容につなげていく。

■ごみ排出量とリサイクル率の推移

図1 ごみ総排出量と1人1日当たりのごみ排出量の推移

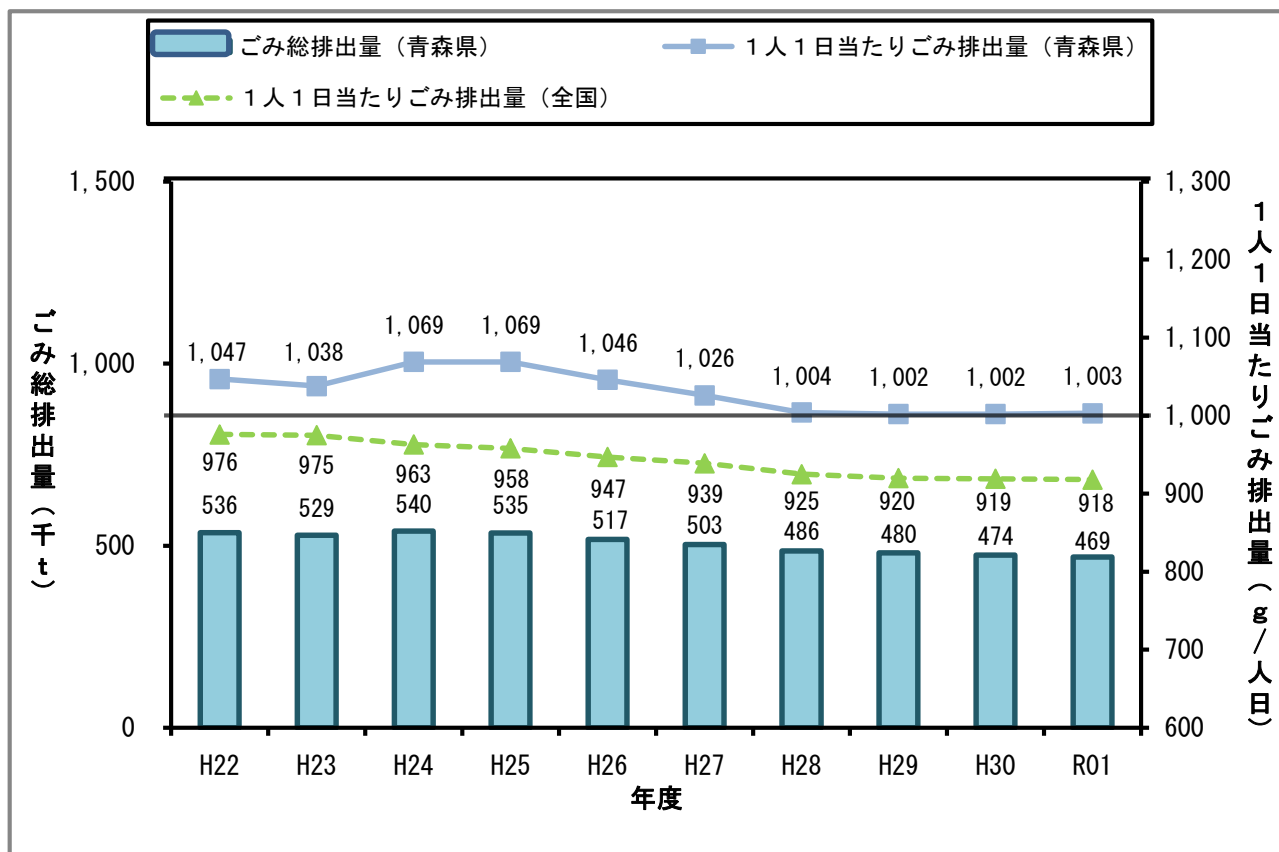


図2 総資源化量とリサイクル率の推移

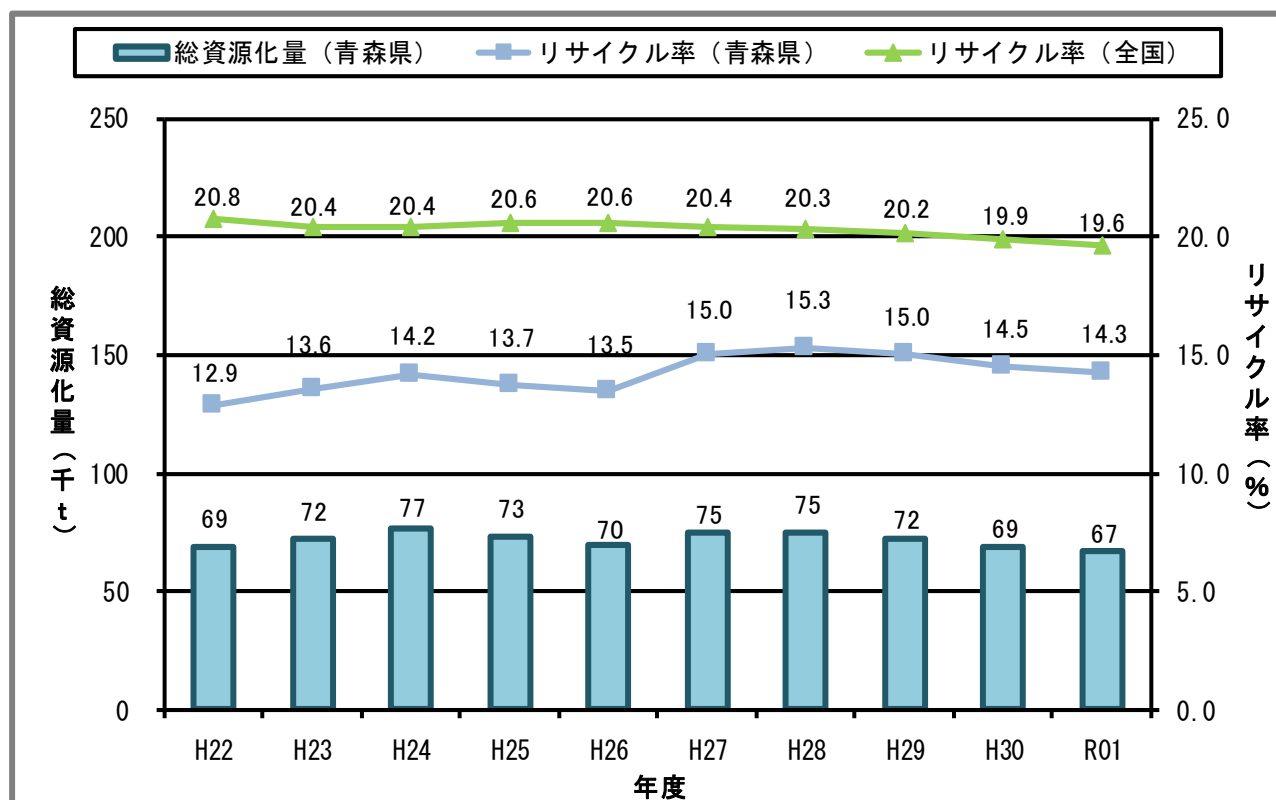
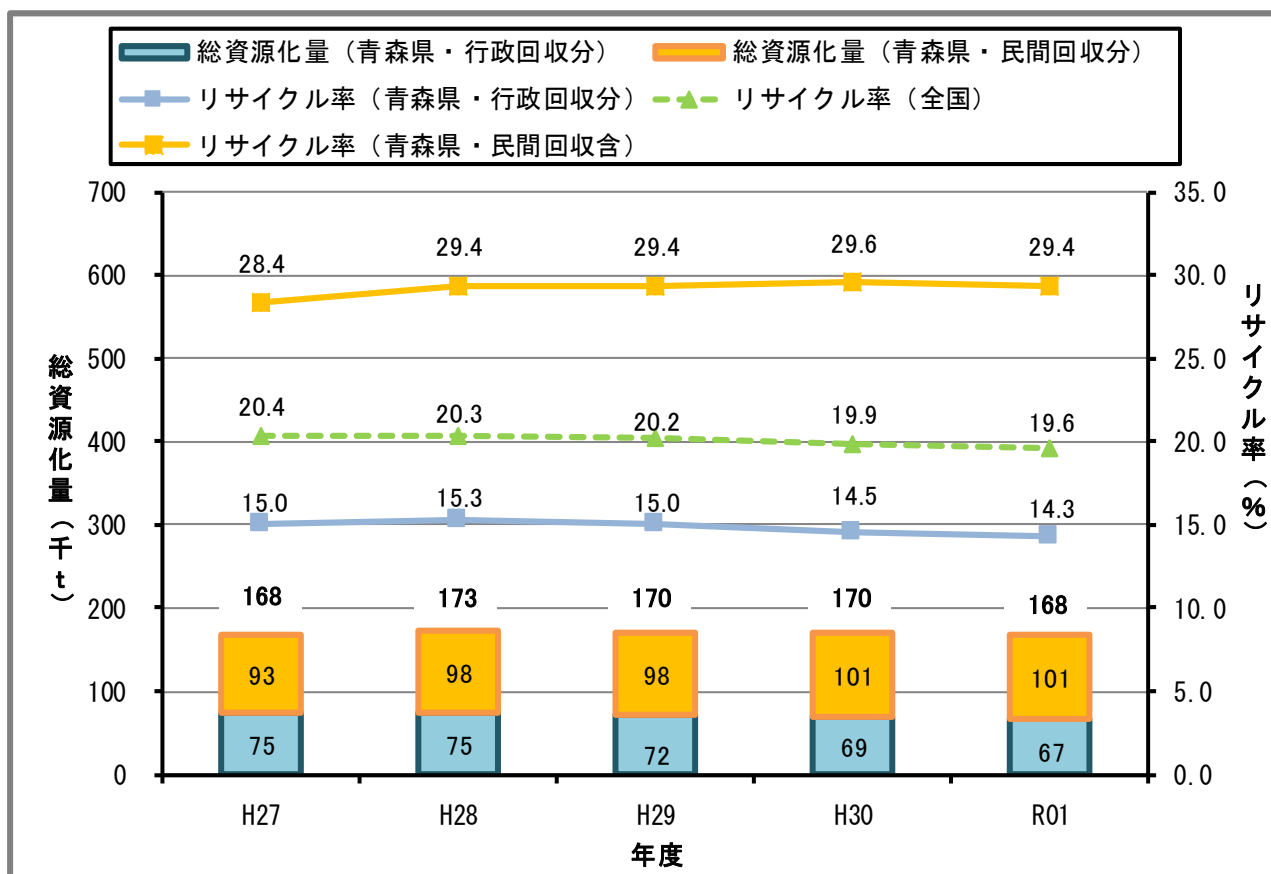


図3 民間回収分を含めた総資源化量とリサイクル率の推移



【民間回収による資源化量の調査について】

<調査対象品目>

古紙類、金属類（アルミ缶、スチール缶）、ガラス類（一升びん、ビールびん等）、ペットボトル、プラスチック類 等

<調査方法>

県内の主要資源回収業者に調査票を送付

令和元年度実績 県内市町村別一般廃棄物処理状況

市町村名	1人1日当たりの ごみ排出量(g)			
	H30	順位	R01	順位
青森市	1,035	31	1,038	31
弘前市	1,142	38	1,104	37
八戸市	965	19	976	21
黒石市	960	17	989	24
五所川原市	1,033	29	1,024	28
十和田市	986	22	1,014	27
三沢市	1,094	35	1,101	36
むつ市	1,086	34	1,088	34
つがる市	851	11	844	11
平川市	889	14	899	14
平内町	1,173	40	1,297	40
今別町	1,034	30	1,045	32
蓬田村	1,135	37	1,245	39
外ヶ浜町	1,021	27	1,014	26
鮎ヶ沢町	968	20	975	20
深浦町	964	18	987	22
西目屋村	925	16	938	16
藤崎町	1,032	28	988	23
大鰐町	839	9	830	8
田舎館村	786	5	835	9
板柳町	815	7	822	7
鶴田町	752	3	751	3
中泊町	856	12	842	10
野辺地町	1,097	36	1,062	33
七戸町	1,038	32	1,032	30
六戸町	698	2	732	2
横浜町	1,017	25	972	19
東北町	877	13	885	13
六ヶ所村	1,147	39	1,174	38
おいらせ町	915	15	924	15
大間町	1,072	33	1,096	35
東通村	844	10	864	12
風間浦村	981	21	964	18
佐井村	995	24	1,003	25
三戸町	1,021	26	1,027	29
五戸町	796	6	822	6
田子町	995	23	942	17
南部町	819	8	788	5
階上町	765	4	778	4
新郷村	644	1	672	1
【青森県全体】	1,002		1,003	
【目標値】	980		980	
【全国】	919		918	

市町村名	リサイクル率(%)			
	H30	順位	R01	順位
青森市	14.9	20	14.7	20
弘前市	9.5	35	9.8	33
八戸市	13.3	24	12.7	24
黒石市	12.8	26	12.9	23
五所川原市	15.6	19	15.7	17
十和田市	21.7	11	21.1	10
三沢市	8.5	36	8.0	38
むつ市	24.5	7	23.3	8
つがる市	16.2	15	15.4	18
平川市	12.6	27	12.4	26
平内町	19.2	13	18.2	15
今別町	10.3	34	12.1	28
蓬田村	37.8	1	38.3	1
外ヶ浜町	27.5	2	27.5	2
鮎ヶ沢町	6.9	39	6.6	40
深浦町	11.3	30	9.5	35
西目屋村	8.3	37	8.8	36
藤崎町	11.7	29	12.5	25
大鰐町	12.0	28	11.8	30
田舎館村	8.0	38	8.2	37
板柳町	6.9	40	6.8	39
鶴田町	17.1	14	20.5	13
中泊町	10.9	31	9.7	34
野辺地町	10.6	33	11.2	31
七戸町	16.2	16	15.9	16
六戸町	21.4	12	21.0	11
横浜町	13.0	25	12.0	29
東北町	15.7	18	14.6	21
六ヶ所村	10.7	32	10.7	32
おいらせ町	22.0	9	21.7	9
大間町	24.5	6	23.7	6
東通村	21.9	10	21.0	12
風間浦村	25.5	5	23.9	5
佐井村	26.8	4	26.0	4
三戸町	13.4	23	14.7	19
五戸町	23.7	8	23.3	7
田子町	15.9	17	18.7	14
南部町	13.5	22	12.4	27
階上町	14.0	21	13.5	22
新郷村	27.4	3	27.0	3
【青森県全体】	14.5		14.3	
【目標値】	25.0		25.0	
【全国】	19.9		19.6	